

# DOCUMENT series—158 Eye

混合交通を観察する

「一時停止違反」「信号無視」「ハンドルブレーキ操作不適」「安全不確認」などがあげられるが、特に「一時停止違反」の構成率は、他の年齢層と比較して高い傾向がある。

また、高齢者の場合、自転車の前かご

## 自転車事故の6割は高齢者

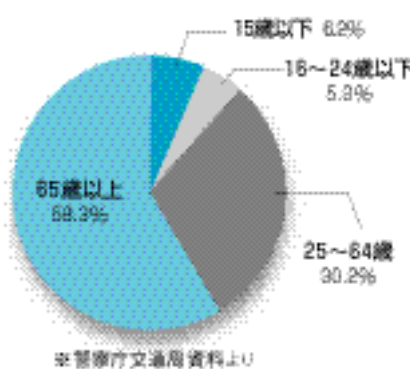
WHY

昨年の自転車乗車中の交通事故死者数に占める高齢者の割合は、991人中578人。つまり6割が65歳以上の高齢者であった(図1)。

死亡事故原因では、「一時停止違反」「信号無視」「ハンドルブレーキ操作不適」「安全不確認」などがあげられるが、特に「一時停止違反」の構成率は、他の年齢層と比較して高い傾向がある。

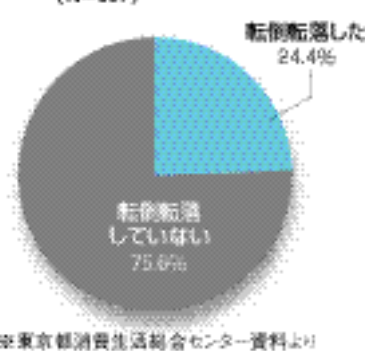
などに荷物をたくさん載せるとハンドル操作がしにくく、ふらつきや転倒の恐れがある。4人に1人の高齢者が転倒事故を

図1 自転車乗車中の死者数(平成14年中)



※警察庁交通局資料より

図2 高齢者の自転車使用時の転倒転落(N=357)



※東京都消費生活総合センター資料より



一時停止をしない高齢者。かごには大きな荷物が

観察場所 / 東京都武蔵野市吉祥寺本町2丁目周辺

観察日 / 3月14日(金曜日)

天候 / 晴れ

観察時間 / 17:10 ~ 18:20 ライト点灯状況観察 / 日没17:48 ~ 18:20

観察者 / 4名

# 高齢者の自転車の乗り方を観察する 信号のない交差点で一時停止をした 自転車に乗る高齢者138人中7人



ミラーを前につけた自転車

経験し、その8割がけがをしたというデータもある(図2)。

総務省が3月14日に発表した平成14年10月1日現在推計人口によれば、75歳以上の人口が初めて1000万人を突破。高齢社会の進展に伴い、高齢者の交通事故死者の増加傾向は深刻な問題となっている。

平日の日没前後に、東京都内の信号機のない小さな交差点で、高齢者とみえる自転車の乗り方について観察した。

WATCHING

## 一時不停止、無灯火の自転車が目立つ

観察場所は東京西部のJR吉祥寺駅周辺に広がる商業エリア内。人通りの多い路地が交差する信号機のない小さな交差点(3カ所)で、高齢者とみえる自転車の交差点での一時停止・荷物の積載状況、および日没の17時48分以降はライトの点灯状況についても観察した。

観察の結果、交差点で一時停止を行なったのは138台中わずか7台だった。高齢者も含めて自転車を利用するほとんどの人は、左右確認を行わずに交差点

を通過していた。左右の店が気になるのか脇見運転する人も多かった。

中には、一旦立ち止まって突然右折を始める人。左折時に対向する自転車にぶつかりそうになってふらつき、曲がりきれずに建物の壁に手を着いて止まった女性も観察された。バックミラーを装着していた自転車は1台だった。

夕方の観察ということもあり、買い物袋などを前かごに入れている人は138台中110台だった。後部の荷台に積んでいる例も8台。袋をハンドルに下げて走っている高齢者も4人見かけた。うち1台は前かごに入らない大きさの蛍光灯をぶら下げている。

ライトの点灯状況だが、日没後に通過した高齢者とみえる自転車56台中、点灯していたのは14台と4分の1に過ぎなかった。前後にライトを装備して走る男性の自転車が目立っていた。また、薄暮時に無灯火で背中を丸めてゆっくり走る高齢の男性がいた。

ライトの点灯状況だが、日没後に通過した高齢者とみえる自転車56台中、点灯していたのは14台と4分の1に過ぎなかった。前後にライトを装備して走る男性の自転車が目立っていた。また、薄暮時に無灯火で背中を丸めてゆっくり走る高齢の男性がいた。

PROPOSE

## 若いときと同じつもりで自転車に乗るのは控えて

高齢者にも多く利用されている自転車。観察地点では高齢者に限らずほとんどの自転車が一時的停止を怠っているように見えた。しかし、若者では防げた事故でも、加齢に伴う身体能力や判断能力の低下のため、高齢者の場合は事故につながる恐れがあるバランスを崩しやすい荷物の積

●高齢者の自転車の乗り方(人)

		男性	女性	計
一時停止 (138人中)	一時停止した	3	4	7
	一時停止しない	60	71	131
	計	63	75	138
荷物の積載状況 (延べ人数)	荷物なし	18	5	23
	前かご	43	67	110
	ハンドル	1	3	4
	両手	1	7	8
ライトの点灯状況 (日没17:48~18:20)	点灯あり	9	5	14
	点灯なし	15	27	42
	計	24	32	56

※65歳以上と見られる高齢者の区分は観察者の見解

み過ぎにも、十分注意が必要だ。

無灯火で堂々と走っている自転車が多い点も気になった。自動点灯や反射材などの積極的な利用により、自分の存在を早め

に他者に知らせることを心がけてほしい。

観察場所のよつな商業エリア内の小さな交差点では、歩行者に対して自転車が加害者になることも十分に考えられる。交差点手前では一旦停止する、左右確認をするなど、ルールとマナーを遵守し、運転者としての自覚を持つてほしい。

## 「お知らせ」 ホンダ安全運転普及本部 新事務局長に河野光彦が就任

ホンダ安全運転普及本部の事務局長に4月1日をもって、河野光彦が就任いたしました。より豊かなモビリティ社会の実現に向けて、なお一層、邁進する所存であります。

前任者同様、今後ともより一層、お願い申し上げます。

ご愛読者のみなさまへ

SJが4月から変わりました。より多くのオピニオンリーダーの方々に、より多くの交通安全活動の情報をお伝えしていきます。微力ながら豊かな交通社会作りに貢献するため、編集部一同、より読みやすく、より役立つ紙面づくりに努力してまいります。今後ともSJをご愛読くださいますよう、よろしくお願いいたします。(SJ編集部)